

## 改正の概要

### ①使用機械の見直し

とりこわし・積込機械について、実態調査の結果から規格を変更

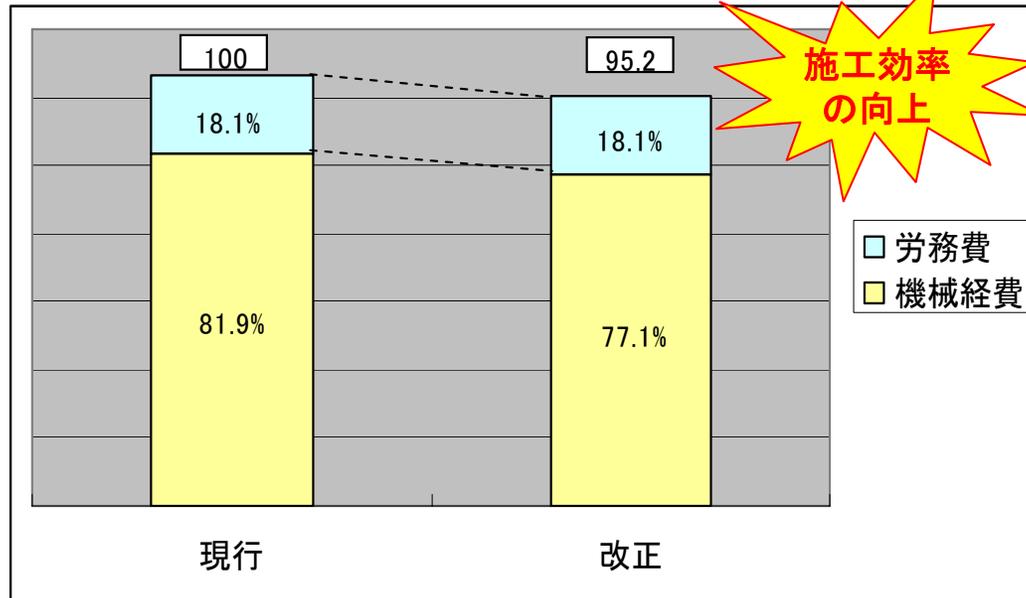
バックホウ バケット容量0.45m<sup>3</sup>級 → **バケット容量0.5m<sup>3</sup>級**

### ②施工の効率化

積込機械の規格変更(大型化)による施工効率の向上

### ■現行歩掛との比較

5% 縮減



機械施工



機械施工(とりこわし・積込・運搬) 100m<sup>3</sup>あたり

改正の概要

①使用機械の見直し

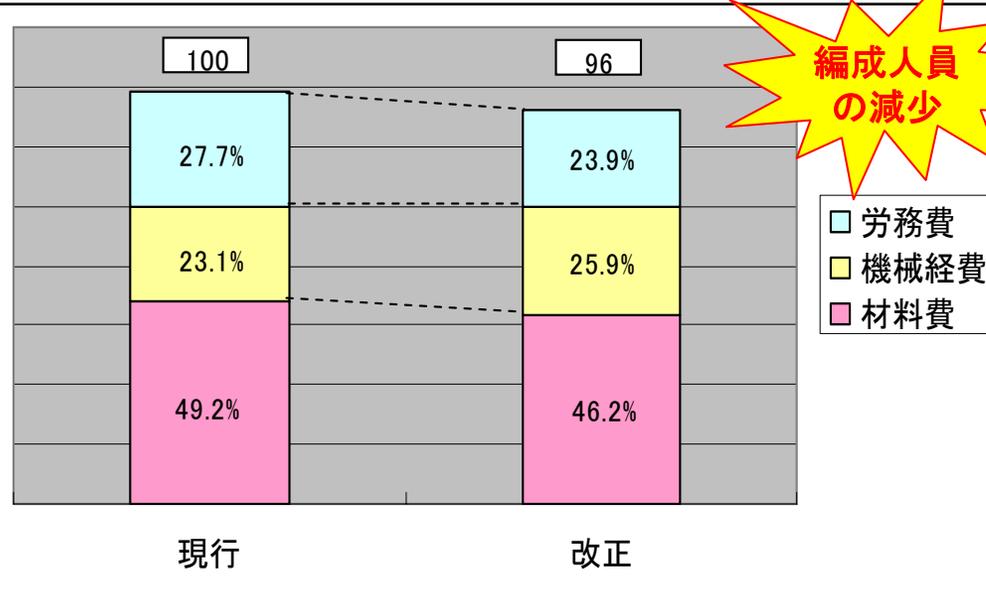
掘削用機械について、実態調査の結果から市場性・汎用性の高い機種・規格に変更  
トラッククレーン4.9t吊 → **ラフテレーンクレーン25t吊**

②編成人員の見直し

使用機械の変更から、編成人員が減少  
編成人員 6人 → **5人**

■ 現行歩掛との比較

4 % 縮減



適用範囲：杭径2.5~4.0m



## 改正の概要

### ①適用範囲の拡大

バイブロハンマ工（電動式）において、実態調査の結果から適用範囲を拡大  
最大N値 80 まで → **最大N値 180 まで**

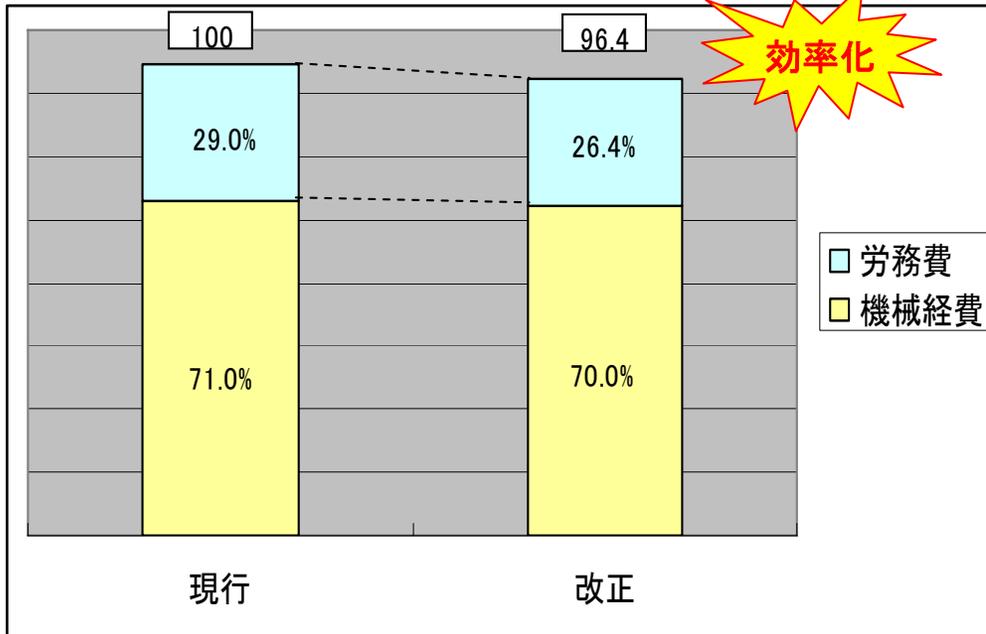
### ②施工の効率化

### ③継ぎ施工歩掛の新規制定

※N値とは、地盤の強度を示す数値で、大きいほど堅い

## 現行歩掛との比較

4% 縮減



バイブロハンマ工（電動式） III型 10m以下



バイブロハンマ工



継ぎ施工

## 改正の概要

### < 支承工 >

#### ① 使用材料の見直し

支承工の使用材料について、実態調査の結果から変更

鋼製支承 → **ゴム支承**

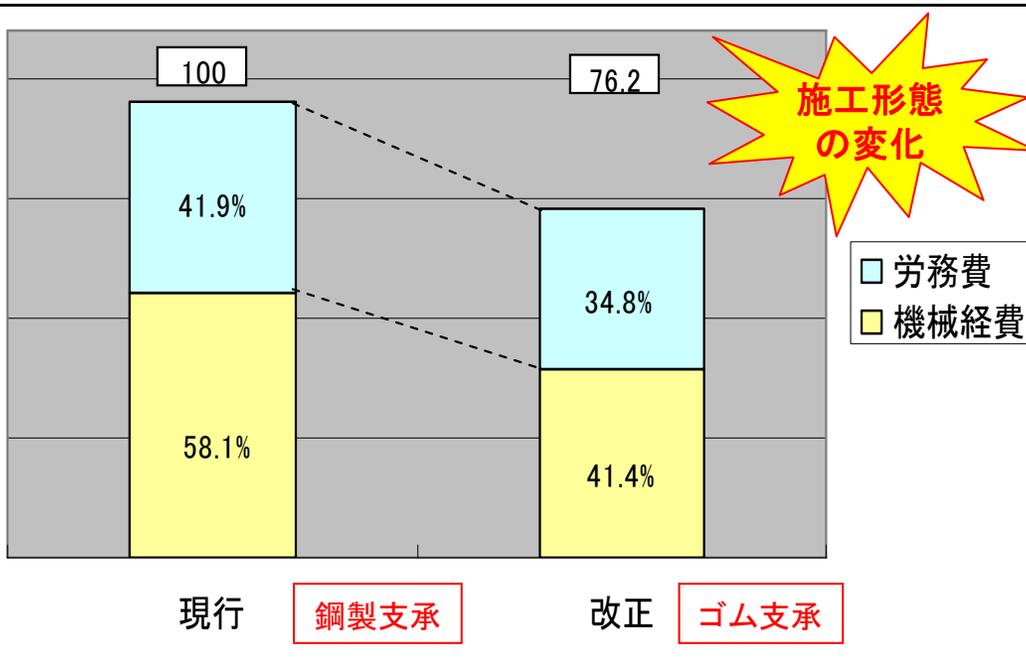
#### ② 施工歩し

使用材料をゴム支承に変更したことにより、施工歩掛を改正

※鋼製支承よりゴム支承の方が、軽量かつ取り扱いやすい

### 現行歩掛との比較

24% 縮減



支承1基当たり(3.0 t/個 × 12個)

一般型ゴム支承



機能分離型ゴム支承

